

授業改善推進プラン

	1年		2年		3年	
	授業改善の方向	具体的な方策	授業改善の方向	具体的な方策	授業改善の方向	具体的な方策
		(重点項目)		(重点項目)		(重点項目)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し方、聞き方について重点的に指導する。話し方では、丁寧な言葉づかいで相手に聞こえるように発表させる。 読書を奨励し、本に親しむことができるようにする。 文型を繰り返し復習し、文づくりがスムーズにできるようにする。 音読する時間を多く取り入れ、声を出したり聞いたりする時間を大切にす。 平仮名や漢字一文字ずつの意味をおさえながら、使用方の定着を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 話型・聴型を取り入れ、語尾に「です。」「ます。」を付けたり、「なぜかという」と「でも」等の簡単な接続詞をつかたりして話せるようにする。 朝読書の時間などに読み聞かせを取り入れることで、様々なジャンルの本に親しむことができるようにする。 日頃から作文や日記に取り組み、書く力の向上を図る。 毎日音読し、音読の仕方や読み方の工夫について聞き合う時間を意識して設ける。 宿題プリントや小テストを取り入れ、平仮名、片仮名、漢字の定着を図る。 				
社会						
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な操作活動を取り入れ、数の感覚を豊かにする。ブロックや数え棒などの半具体物を用いることで、数の概念の基礎を、諸感覚を通して育てる。 具体物、言葉、数、図を使って、説明する活動を通して、友達との活動を楽しみ、自分の考えを確かなものにする。楽しく生き生きと学習に取り組めるように、数の提示や教材教具を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最初に、3分間の計算練習の時間をとり、基礎基本を身に付けさせる。 友達との考えの交流を経て、問題解決の多様さを共有し、自分の学びに生かせるようにする。また、学習したことや自分が考えたことがはっきりわかるようなノート作りをさせる。 楽しく学習に取り組む、学んだことを生活経験に結び付けて考えることができるようにする。 				
生活	<ul style="list-style-type: none"> 様々な体験から、気付いたことを絵や言葉で表現し、気付きを実感させていく。毎日の生活の中で気付いた季節の移り変わりや動植物の様子について伝え合う。 2年生との交流を取り入れ、他者との関わりを学ばせ、自分自身の成長につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動の際には、観察カードを書かせる。事実に基づいた記述をさせ(色・形・大きさ・数など)自然への気付きに目を向かわせる。また、それを紹介したり、掲示して見合ったりすることによって、様々な見方や感じ方に触れることができるようにする。 2年生との交流を年間を通して計画的に設定していく。交流をした際には、振り返りをするすることで、自分の成長につなげることができるようにする。 				
理科						
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽遊びやリズム遊びを積極的に取り入れて、自然に拍感が身につくようにする。 様々なリズムのおもしろさに関心をもち、簡単なリズムづくりを楽しむことができるようにする。 様々な楽器を演奏し、拍の流れにのって、楽しく表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体表現や音楽遊びなどの活動を体験させながら拍の流れやリズムに対する感覚を育む。 曲の特徴を意識し、どのように表現したいのかを考えて演奏できるようにする。鍵盤ハーモニカだけでなく、タンブリンやカスタネットなど様々な楽器に触れることができるようにする。 				
図工	<ul style="list-style-type: none"> 紙や粘土など身近にある素材に触れる活動を通して、のり・はさみ・クレヨンなどの道具の基本的な扱い方について基礎的な技能が身に付くように指導する。 短時間で簡単な操作で表現できる題材を設定し、体全体の感覚や技能を働かせながら、表すことを楽しめるようにする。 自他の作品の面白さや楽しさを感じとるように、鑑賞の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具は扱いやすいように場を設定し、材料は発達段階に応じて形状や種類を吟味して出合わせる。 短時間の題材の順序を吟味し、次第に用具の経験や材料の体験を深めていけるように、段階的な配列を工夫する。 製作途中や作品完成後に、鑑賞タイムを設定し、作品を見る価値を知らせる。 				
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びのやり方を知り、ルールを工夫して友達とかわりながら体を動かす機会を増やしていく。 補助具などを積極的に活用し、児童が安心して、また安全に気を付けて、学習できるようにする。 ルールを守っていた子や運動の仕方を工夫していた児童を取り上げ、称賛し合う場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の動きがよく見えるように場の工夫をしたり、グループ学習を取り入れたりして学び合いを促す。 誰もが安全に安心して運動ができるよう、単元のはじめに運動する時のきまりごとや準備・片付けの指導を徹底して行う。 学習カードを書く活動を取り入れ、友達のよさに気付いたり、自分について振り返ったりできるようにする。 				
総合						

	4年		5年		6年	
	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)
国語						
社会 算数						
理科						
音楽						
図工						
家庭科						
体育						
総合						